

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
農事組合法人 K 農産	5人	岡山県津山市	経営継承と従業員の待遇改善に向けた法人化	専門家支援2回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は地域の代表的な稲作農家であり、新規就農希望の研修生を受け入れるなど、次世代を見据えた活動にも積極的に取り組んでおり、地域農業の担い手として期待されている。

今般、後継者が本格的に経営に参画し、経営規模の拡大も順調に進んでいることから、雇用を確保しながら安定した経営を確立して、将来、円滑に経営を継承するため法人化したい、との相談があった。

■現状課題等

○本人、妻、長男の家族3人と常時雇用2人で稲作主体の経営をしており、経営診断の結果、財務状況を含めて極めて健全な経営が行われている。

○経営規模の拡大が進む中、優秀な人材確保が必須であり、そのために安定した雇用と労働環境の整備が必要となっている。

○法人化にあたって、将来の経営継承や地域との関わり合いを含めて、どのような形態の法人にするのか検討する必要がある。



相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

現状の課題を踏まえ、当面は「家族による1戸1法人を立ち上げることとし、地域の状況変化に合わせた連携が可能な法人形態を取る」とし、中小企業診断士をチームリーダーとし、税理士、社会保険労務士、司法書士等により編成した伴走支援チームを派遣。次の助言・指導等を行った。

- 現状の経営診断と法人化に向けた手順と留意点を説明
- 個人事業から法人事業への転換時の留意点、個人所有資産の処理時の留意点を説明
- 社会保険、雇用保険、労働保険等について説明
- 現状で法人化した場合の税負担、社会保険料負担等のシミュレーションの提示

- 経営継承と法人化についての意見交換
- 法人化の具体的な手続き



支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

- 相談者及び後継者は、地域との連携を大切にしたいので、農事組合法人を希望。平成31年2月21日に家族3名による法人設立に至った。
- 法人化により後継者が役員として経営に本格的に参画し、将来の経営継承への準備ができた。
- 雇用体制が整い、従業員の待遇改善につながった。



■コーディネーター所感

- 従来の経営が健全であったこともあり、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、司法書士の支援により、法人の設立をスムーズに進めることができた。農事組合法人の形態を取ったことにより、将来的に地域農家の参画も容易とすることで、地域の期待に応えられる経営体としての体制が整った。
- 家族3人による農事組合法人のため、欠員による欠格が生じないような対策が必要である。